

WHO ファクトシート

食の安全

Food safety

2017年10月

重要な事実

- ・安全で栄養価の高い食べ物へのアクセスを得ることは、生命を維持し健康を促進するための鍵となる。
- ・有害な細菌、ウイルス、寄生虫あるいは化学物質を含んだ危険な食品は、下痢から癌まで、幅広く様々な200以上の疾病の原因となる。
- ・世界では10人にほぼ1人、約6億人が汚染された食物を食べて病気になっており、毎年42万人が死亡し、その結果3300万人・年(DALYs)の損失となる。
- ・5歳未満の子どもが、食物由来疾病負担の40%を占め、毎年12万5000人が死亡している。
- ・下痢性疾患が汚染された食物を摂取した結果の最も一般的な疾患であり、毎年5億5000万人の罹患と23万人の死亡の原因となっている。
- ・食の安全、栄養及び食糧安全保障は密接にリンクしている。安全でない食品は、とりわけ乳幼児、幼児、高齢者や病人への影響が大きく、疾病と栄養不良の悪循環を生む。
- ・食品由来の疾病は、保健医療体制へ負担をかけるとともに、国家経済、観光及び交易に悪影響を及ぼすことによって社会経済的発展を阻害する。
- ・今日、食糧のサプライチェーンは複数国境をまたがる。各国政府、生産者及び消費者の良好な協力関係は、食の安全の確保に寄与する。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Food safety ファクトシート原文は [こちら](#)